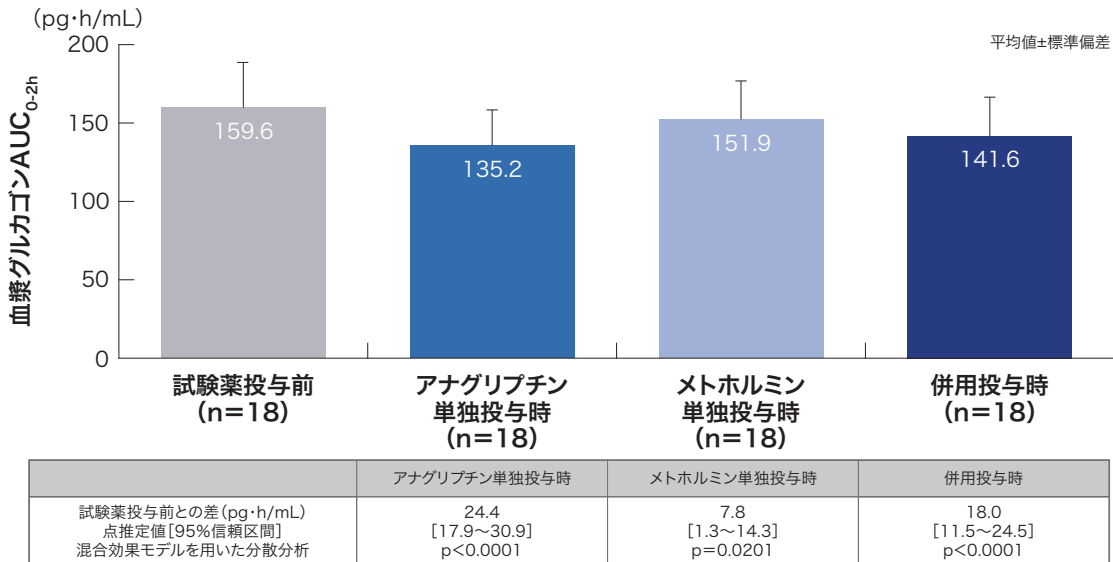


(2) 血漿グルカゴン

血漿グルカゴンAUC_{0-2h}は、メトホルミン単独投与時151.9pg·h/mL、併用投与時141.6pg·h/mLであり、メトホルミン単独投与時と比較して併用投与時により有意に低下した(群間差の点推定値11.9pg·h/mL[95%信頼区間:4.2~19.6]、p=0.0036、混合効果モデルを用いた分散分析)。

■ 血漿グルカゴン推移AUC_{0-2h}(投与3日目)



(3) 血漿活性型GLP-1濃度

朝食前血漿活性型GLP-1濃度は、アナグリプチン単独投与時1.76pmol/L、メトホルミン単独投与時1.90pmol/L、併用投与時4.11pmol/Lであり、アナグリプチン単独投与時及びメトホルミン単独投与時と比較して併用投与時に有意に上昇した(それぞれ群間差の点推定値-2.28[95%信頼区間:-3.21~-1.35]、-2.27、[95%信頼区間:-3.20~-1.33]、いずれもp<0.0001、混合効果モデルを用いた分散分析)。

また、血漿活性型GLP-1濃度AUC_{0-6h}は、アナグリプチン単独投与時24.6pmol·h/L、メトホルミン単独投与時25.6pmol·h/L、併用投与時56.5pmol·h/Lであり、アナグリプチン単独投与時及びメトホルミン単独投与時と比較して併用投与時に有意に上昇した(それぞれ群間差の点推定値-31.1pmol·h/L[95%信頼区間:-39.3~-22.8]、-32.0pmol·h/L[95%信頼区間:-40.3~-23.7]、いずれもp<0.0001、混合効果モデルを用いた分散分析)。

■ 血漿活性型GLP-1濃度推移(投与3日目)

